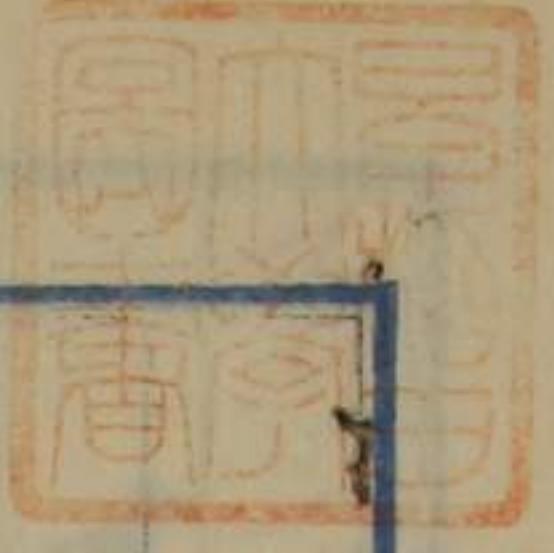


214
A1048



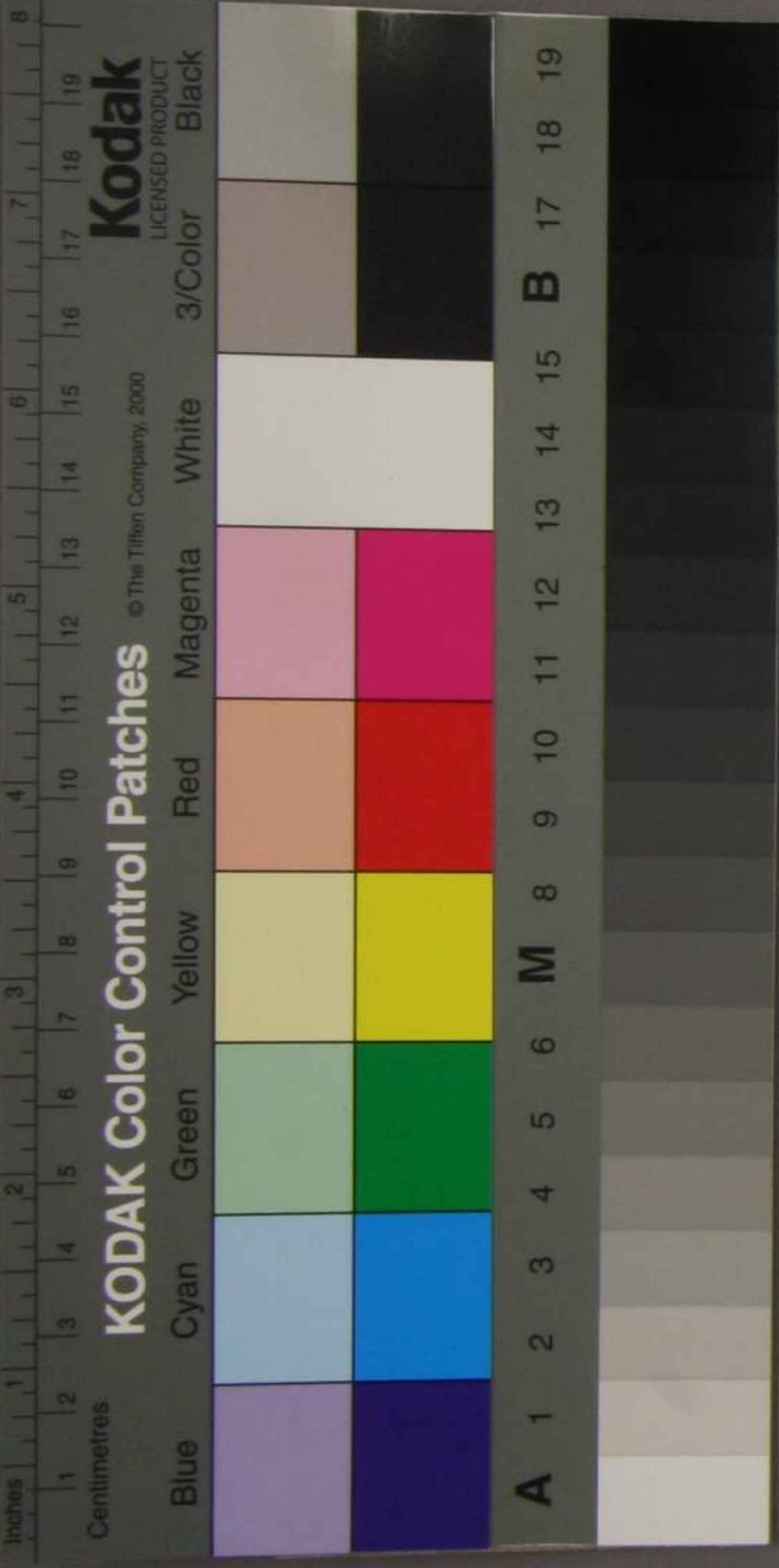
七年十二月十六日

蕃地事務局

大臣
考議

海軍省、別紙之通、何出、亦、何、指令、
案、大藏省、所、達、案、之、通、相、何、
海軍省、所、指令、案、
何、之、趣、金、指、万、四、小、野、組、破、産、ヨリ、
蕃地事務局、に、返、寄、
難、打、毎、水、付

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



大藏者於此日經預之重慶
分發着上—万金於万田別途
操操於波水案事務局日通信
可正此事

大藏者、即遊案

別紙海軍者何未盡之通及
指令於案金指万田回者白可相
以此方於此事

三月一日四百六十二号

審地多務局より操替受取
金十万圓回局、近金之目的
三月、新艦買収金額五百三十
万圓之内より更に少額を成度
云々上信

去月十月中高懸丸購求之上急速
儀装水雷、海軍隊乗組長官の
出張料を三月に平帯航海上
述に出上之修機、用意を費用

三月 四号

海軍省

支三員 別途準備金之内より受取方
 日月十九日 審地了事務局へ及第
 先電書別途金之義 二名を以て
 成計合計金五十五万圓 洋銀三十
 七万五千弗に非ず 亦不成就旨に
 工仕用お成居 差當り出船費に
 採合出来並し 尚又審地了
 事務局へ及第旨に 金十方圓丈と同

旨より 採塔より 辭用 移居 火の義に
 其の如く 然し 古高 燈丸 乘組 海
 兵等 十一月十四日 歸京 旨に 金五
 其儀 持返り 先電 折印 者替 方
 小野 組 船 産 之 際 之 常 者 了 可 否
 審目 等 事 了 當 中 之 額 々 金 上 納 方 格
 務 出 諸 費 用 拂 方 差 支 了 旨
 前 文 旨 燈 丸 持 返 旨 金 欠 旨 也
 方 振 向 旨 亦 後 在 旨 也 旨 也
 審 地 了 務 局 へ 送 金 旨 之 目的

無之身古十萬圓（圓）小望胆雷每
歩何を造新艦買取金銀百三
十萬圓之内有り更に水滸お成り孫
仕成り成後之諸仕あり也

明治七年十月十日 海軍大臣 樺山資紀

大臣大臣三條 美葉殿

此の事地事治るるに性厚なる官あり
別るるもたれ也

如月廿日金十萬圓を以て撥給
水滸中より金銀百三
十萬圓を以て造新艦買取
金銀百三
十萬圓之内有り更に水滸
お成り孫
仕成り成後之諸仕あり也
明治七年十月十日 海軍大臣 樺山資紀

議者限重信海
也る由日あるに降報を拘不
あるありし身可成傳不ある取
信を重高道一針の書が光旨
は女中子別り也

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

船船海兵出張入費之至動十方圓
以廿日ある免取納付身有る傳不
ある信可重高道一針の書が光旨
軍資準備年々之我より多し由日
更にありし身可成傳不ある取
物多し由日あるに降報を拘不
あるありし身可成傳不ある取
少張入費に取ら正院へ取申立者
之可成傳不ある取

信長及の島合の事

十の事

川村海軍大補

大隈海軍大補

信長及の島合の事

信長及の島合の事

丁

信長及の島合の事

あること... せん... う... 好... 又... 大...
... 義... 子... 中... 運... 運...
... 運... 運... 運... 運... 運...
... 運... 運... 運... 運... 運...
... 運... 運... 運... 運... 運...

十月廿日 大隈... 地... 務... 長...

田村... 年... 七... 捕... 石...

